

## 京都大学文学部卒業生アンケート集計結果

令和5年3月実施

京都大学文学部・文学研究科では、卒業時・修了時にアンケートを実施し、教育研究活動の自己点検・評価に役立てるとともに、その集計結果を公開しています。卒業生の皆さん、ご協力ありがとうございました。

### 【結果の概評】

以下、結果の概評に移る。なお、一部項目の結果については2020年度から今年度にかけての推移を示している。その際、括弧内に「〈2020年度の数字〉→〈2021年度の数字〉→〈今年度の数字〉」という形式で記載した。また、選択肢「A」を最高評価として満足度や達成度を問う項目について講評する場合、「A」「B」という上位2つの回答を合わせて〈肯定的な回答〉とみなしている。

今年度は卒業生204名に対して143名の回答を得た。回答率は70.1%であり、昨年度に比べ低下している(62.8%→83.5%→70.1%)。

内容を見ると、文学部の授業、そして文学部での学業を経て得た知識、技能については、例年通り高い評価を得ていることがわかる。今年度の卒業生は、専修への分属後ほとんどの期間を新型コロナウイルスの流行下で過ごしており、通常の対面形式の授業を受ける機会に限られていたが、教員の工夫、努力により授業の質が担保された結果の数字と見ることができるだろう。

Q.1はオープンキャンパスへの参加経験を問うものだが、今年度の卒業生は、参加者が非参加者を下回っている(参加者割合：49%→54.8%→45.5%)。

文学部の授業が「自学自習」の基本理念を実践するものであったかを問うQ.2では肯定的な回答が8割(72.3%→73.1%→79.7%)、文学部での学習の満足度を問うQ.3では肯定的な回答が9割(90.3%→87.3%→91.7%)と、一昨年、昨年に続きいずれも高い評価が示された。

卒業後の進路を問うQ.4では、「一般企業に就職」が昨年度に比べ12.4ポイント上昇したが、その分、「大学院進学」の選択者が昨年度に比べ10.2ポイント低下し一昨年度のレベルに戻った(23.9%→35%→25.2%)。これがコロナ禍の収束に伴うものなのか、別の要因によるものなのか今後の見極めが必要である。

文学部で学習したもののうち、今後役立つと考えられるものを選択させるQ.5ではほぼ例年と同様の結果が得られたが、このうち「専門的知識」の回答率が増加傾向にある(46.5%→47.2%→53.8%)。

Q.7~10はディプロマポリシーの達成度合いを問う項目である。概して肯定的な回答であるが、「自由で批判的な精神と良識を具え、人類が直面する課題を直視し、問題の解決に積極的に寄与すること」の達成度を問うQ.10のみ7割をわずかに下回ったが、これは例年

並みの数値であり、昨年度より改善されている（70.3%→62.9%→68.6%）。また、Q.11~15は全学共通科目における達成度を問う項目である。概して高い評価が示されているが、このうち英語能力の向上度合いを問う Q.13 のみ肯定的な回答の率が低くなっている。こちらも例年並みの水準であり、昨年度に比べ若干の改善が認められるが（51%→45.7%→49.7%）、会話、読解、作文など、英語力のうち、どの部分が向上していないと学生が認識しているかも含め、調査、さらなる改善の余地がある。

### 【自由記述欄】

卒論指導等に見られる過度の自由放任主義を批判する意見があった。外国語教育に関しては、多様な言語習得が可能な制度を評価する意見と時間の無駄であるとする批判的意見の両方が寄せられた。また教務関連では、集中講義の履修取り消しに関して登録システムの改善を望む声が見られた。

以下、自由記述欄の内容をそのまま共有する。

- ・京大はもう昔の良さなどスポイルされてしまっていてダメになったとではと思う。昔も本当によかったのかは分からないが。
- ・自由放任がすぎる。
- ・一般教養を時間とエネルギーの無駄として感じました。特に外国語の教養の意味を理解しなかった。二年間、週2コマで外国語を獲得することは難しいのに、授業の時間的な負担が無駄に重く感じました。それ以外にも専門とまったく無関係な授業が多く、実際に深く学びたかったことに十分集中できませんでした。
- ・卒業論文の書き方を、内容的な面でも形式的な面でももう少し教えてあげてください。
- ・私の処分はいつになったら撤回してもらえるのでしょうか。
- ・楽しかったです。
- ・卒業する段階で自分の教養の程度とかわかるならば苦労しないと思います。
- ・英語選択の代わりに、外国語2つで卒業できるシステムは是非維持してほしい。
- ・集中講義の履修取り消しを、講義受講後に可能なようにしてほしい。1日目に出てからでないと正規に受講、レポートを提出すべきかどうか判断し難い。法人化・kulasis導入・「履修取り消し」の導入以前は当たり前のように受講してからの判断が出来ていたのと思う。上記システムへの移行に伴う不都合が、この点ではまだ解消されていないように思われる。
- ・素晴らしい学生生活でした。高校生の頃に思い描いていた京都大学文学部のイメージそのままの環境がここにはありました。これからもこの環境を守って頂きたいです。

アンケート名 令和4（2022）年度卒業生アンケート

部局 文学部

対象者数 204

回答者数 143

回答率 70.1

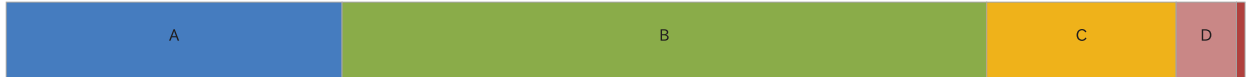
結果 (Q.01) あなたは入学前に京都大学オープンキャンパスに参加しましたか？

- A: はい (65票/45.5%)
- B: いいえ (75票/52.4%)
- C: 無回答 (3票/2.1%)



(Q.02) 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、自学自習の能力が養われるような形で行われていると思いますか？

- A: 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている (39票/27.3%)
- B: 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている (75票/52.4%)
- C: どちらとも言えない (22票/15.4%)
- D: 自学自習の能力が養われるような形で行われていない (7票/4.9%)
- E: その他 (1票/0.7%)
- F: 無回答 (-1票/-0.7%)



(Q.03) あなたは文学部（特に所属専修）で学んだことに満足していますか？

- A: 十分に満足している (63票/44.1%)
- B: それなりに満足している (68票/47.6%)
- C: どちらとも言えない (8票/5.6%)
- D: 後悔している (4票/2.8%)
- E: その他 (0票/0%)
- F: 無回答 (0票/0%)



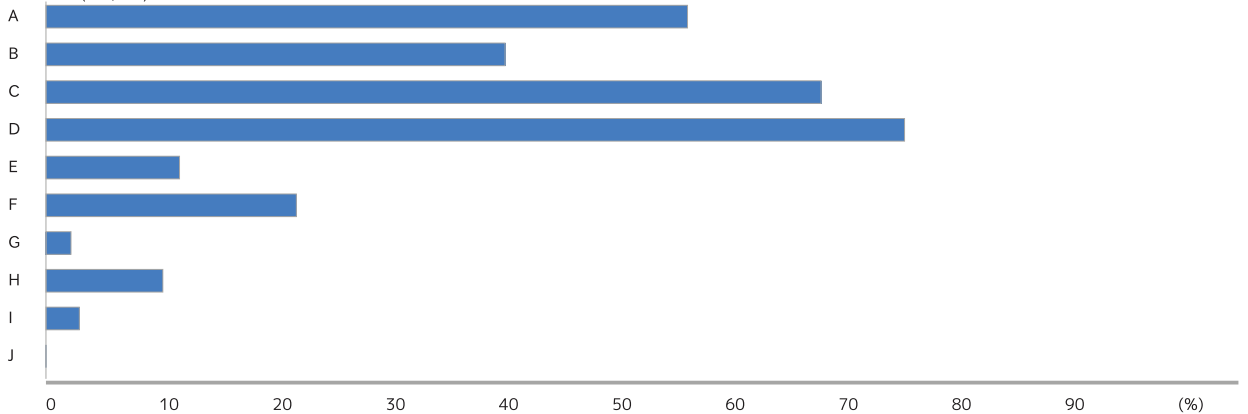
(Q.04) 4月以降の進路についてお聞きします。

- A: 大学院進学（他大学も含む） (36票/25.2%)
- B: 一般企業に就職 (81票/56.6%)
- C: 官庁、地方自治体等に就職 (10票/7%)
- D: 教員、司書等の専門職に就職 (6票/4.2%)
- E: その他 (1票/0.7%)
- F: 無回答 (9票/6.3%)



(Q.05) 文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものはありますか？（複数回答可）

- A: 専門的知識 (77票/53.8%)
- B: 専門分野の研究能力 (55票/38.5%)
- C: 自分で問題を発見し、解決を図る能力 (93票/65%)
- D: 一般的な教養 (103票/72%)
- E: 国際感覚 (16票/11.2%)
- F: 外国語の能力 (30票/21%)
- G: リーダーシップ (3票/2.1%)
- H: 社会的常識 (14票/9.8%)
- I: その他 (4票/2.8%)
- J: 無回答 (0票/0%)



(Q.06) 差し支えなければ、あなたが所属していた系を教えてください。

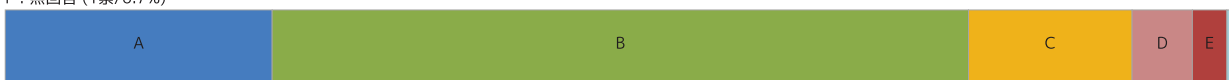
- A: 哲学基礎文化学系 (29票/20.3%)
- B: 東洋文化学系 (10票/7%)
- C: 西洋文化学系 (9票/6.3%)
- D: 歴史基礎文化学系 (27票/18.9%)
- E: 行動・環境文化学系 (48票/33.6%)
- F: 基礎現代文化学系 (18票/12.6%)
- G: 無回答 (2票/1.4%)



(Q.07) 以下、Q.07からQ.10で、文学部のディプロマポリシーに関してお伺いします。以下の項目についてどの程度達成できたか教えてください。

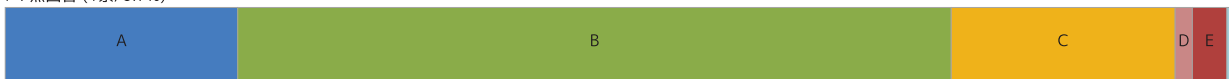
人文学に関わる基礎的学識を有し、その専門領域としての哲学・歴史学・文学・行動科学について深い理解力を持ち、また学修成果を卒業論文として集大成できる問題探求能力、分析能力、表現能力を身につけている。

- A: 達成できた (31票/21.7%)
- B: ある程度達成できた (81票/56.6%)
- C: どちらとも言えない (19票/13.3%)
- D: あまり達成できなかった (7票/4.9%)
- E: 達成できなかった (4票/2.8%)
- F: 無回答 (1票/0.7%)



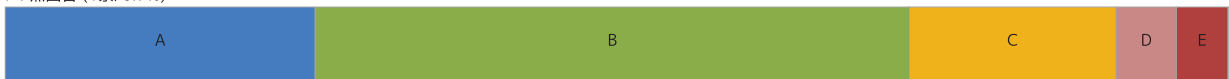
(Q.08) 人文学に関わる課題について、問題を発見し解決する力具备、創造的に取り組むことができる。

- A: 達成できた (27票/18.9%)
- B: ある程度達成できた (83票/58%)
- C: どちらとも言えない (26票/18.2%)
- D: あまり達成できなかった (2票/1.4%)
- E: 達成できなかった (4票/2.8%)
- F: 無回答 (1票/0.7%)



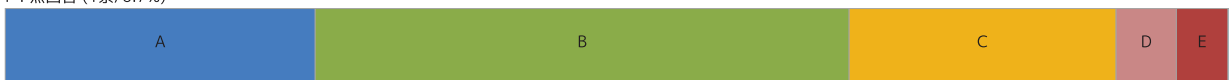
(Q.09) 人文学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その発展に貢献することができる。

- A: 達成できた (36票/25.2%)
- B: ある程度達成できた (69票/48.3%)
- C: どちらとも言えない (24票/16.8%)
- D: あまり達成できなかった (7票/4.9%)
- E: 達成できなかった (6票/4.2%)
- F: 無回答 (1票/0.7%)



(Q.10) 自由で批判的な精神と良識を具备、人類が直面する課題を直視し、問題の解決に積極的に寄与することができる。

- A: 達成できた (36票/25.2%)
- B: ある程度達成できた (62票/43.4%)
- C: どちらとも言えない (31票/21.7%)
- D: あまり達成できなかった (7票/4.9%)
- E: 達成できなかった (6票/4.2%)
- F: 無回答 (1票/0.7%)



(Q.11) 以下、Q.11からQ.15で、全学共通科目の学習に関してお伺いします。入学当初と比べ、以下の項目はどの程度向上した又は得られたと思いますか。(一つ選択。無回答も許可する。)

専門以外の幅広い知識・教養

- A: 大いに向上した (39票/27.3%)
- B: ある程度向上した (84票/58.7%)
- C: あまり向上しなかった (17票/11.9%)
- D: 全く向上しなかった (2票/1.4%)
- E: 無回答 (1票/0.7%)



(Q.12) 専門分野で基礎となる学力

- A: 大いに向上した (38票/26.6%)
- B: ある程度向上した (86票/60.1%)
- C: あまり向上しなかった (14票/9.8%)
- D: 全く向上しなかった (4票/2.8%)
- E: 無回答 (1票/0.7%)



(Q.13) 英語の能力 (英語以外の言語を第1外国語とした方は、その言語の能力)

- A: 大いに向上した (14票/9.8%)
- B: ある程度向上した (57票/39.9%)
- C: あまり向上しなかった (52票/36.4%)
- D: 全く向上しなかった (19票/13.3%)
- E: 無回答 (1票/0.7%)



(Q.14) 初修外国語の能力

- A: 大いに向上した (23票/16.1%)
- B: ある程度向上した (67票/46.9%)
- C: あまり向上しなかった (34票/23.8%)
- D: 全く向上しなかった (16票/11.2%)
- E: 初修外国語は修得しなかった (0票/0%)
- F: 無回答 (3票/2.1%)



(Q.15) 将来の研究分野や進路を決める手がかり

- A: 大いに得られた (27票/18.9%)
- B: ある程度得られた (69票/48.3%)
- C: あまり得られなかった (31票/21.7%)
- D: 全く得られなかった (15票/10.5%)
- E: 無回答 (1票/0.7%)



(Q.16) その他意見・要望等がありましたら、ご自由にお書きください。